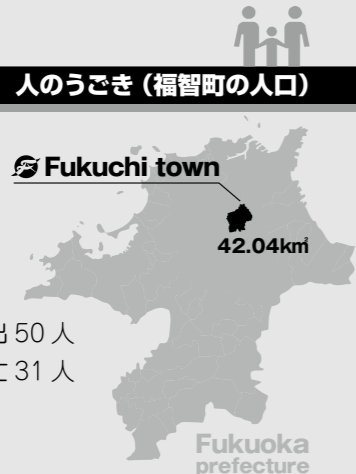


Population 人のうごき (福智町の人口)

●人口 24,507人
前月比-15人
前年比-221人

●男性 ↑11,578人
●女性 ↓12,929人

●世帯 11,211世帯
前月比+2世帯
前年比+12世帯
※平成25年9月末現在(住民基本台帳人口)



（お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長 弔電はひかえさせていただきます）

Tax おさめて安心 (税の納期限)

- 町県民税 [4期] 12月2日 月が納期限です
- 国民健康保険税 [5期] 12月2日 月が納期限です

Event テクホー net (近隣の催し)

- 【添田町】第18回英彦山男魂祭
11月10日 日 11時～
(英彦山深倉園地) ※彦山駅から送迎バスあり
秋の絶景が広がる深倉峽にある奇怪な男魂岩のふもとで、ステージイベントやもちまき、地元特産品の販売などが行われます。ご家族や友人と一緒にご参加ください。
☎ 地域産業推進課商工観光係 ☎ 82-1236
- 【田川市】山本作兵衛コレクションと世界記憶遺産展
11月24日 日 まで 9時30分～17時30分
(田川市石炭・歴史博物館 第2展示室)
入場料：一般 210円、高校生 100円、小中学生 50円
※ 休館日や団体割引などは問い合わせください
田川市市制施行70周年と田川市石炭・歴史博物館開館30周年を記念し、世界記憶遺産に登録された作兵衛氏の原画などを展示します。
☎ 田川市石炭・歴史博物館 ☎ 44-5745
- 【香春町】河津光俊展 入場無料
11月24日 日 まで(香春町町民センター2階)
平等院鳳凰堂扉絵や京都の醍醐寺五重塔など、国宝建造物の壁画模写を行い、文化財模写技術の第一人者として活躍した香春町出身の河津光俊氏の作品を披露。
☎ 香春町教育委員会 ☎ 32-8410

Medical health

保健の掲示板

11月16日から12月15日までの保健事業日程

- 11月20日 ㊦【4～5か月児健診】
4～5か月児を対象(個人通知します)
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:30～14:30
 - 11月20日 ㊦【乳幼児相談】
2か月児と、身体計測や育児相談などの希望者を対象
[会場] コスモス保健センター [受付] 14:45～15:00
 - 12月11日 ㊦【1歳6か月児健診】
1歳6か月～1歳7か月児を対象(個人通知します)
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00～14:00
 - 12月13日 ㊦【健康相談】
健診結果や介護など相談希望者を対象
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:30～15:30
- ※ 金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターまでお気軽にお問い合わせください。各保健センターなどでご希望に応じて実施いたします。(予約制)

救われる生命があります「愛の献血」にご協力を!

日程：11月20日 ㊦ 10:00～11:30、12:30～16:00
場所：方城保健センター
対象：男女とも体重が50kg以上で、
男性は17歳～69歳
女性は18歳～69歳の健康な人
※ 65歳以上の場合は、60～64歳の間に献血をしたことがある人



☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

Vaccination

【高齢者用肺炎球菌ワクチン】
接種費用の一部を助成します!

肺炎を引き起こすもっとも可能性が高い病原菌は「肺炎球菌」です。町では、この肺炎球菌による肺炎予防に有効なワクチンの接種費用の一部を助成しています。任意の予防接種ですので、接種を希望する人は、かかりつけの医師に相談し、協力医療機関(要予約)で接種してください。

対象：町に住民登録のある75歳以上、または65～74歳で心臓・腎臓・呼吸器疾患・血液および免疫疾患などの障害(身体障害者手帳1級程度)がある人

助成金額：3,000円(1人1回限り)

- ※ 自己負担額は、予防接種費用から助成金額を差し引いた額です。医療機関により負担額は異なりますので、医療機関へ確認ください。
- ※ 当日は、保険証など、住所・氏名・生年月日が確認できるものを持参してください。
- ※ 詳細は広報4月号の折込みチラシかホームページをご覧ください。

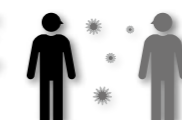
☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

今年もインフルエンザに警戒が必要です

流行にはのらない、のせられない。



インフルエンザはいったん流行が始まると、短期間で感染が拡大していきます。感染しないための予防法やウイルスに負けない健康管理を身につけましょう。



予防接種で感染と重症化を防ぐ!

予防接種は感染予防に加え、感染したときの重症化を防ぐ効果があります。高齢者や乳幼児など、重症化する恐れが高い人やそのご家族は、接種することをおすすめします。ワクチンの効果は接種後約2週間ごろ～約5か月間。インフルエンザが流行しやすい1月～3月を見越し、10月～12月中旬までの間に受けるとよいでしょう。

※ 65歳以上、または60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器疾患・血液および免疫疾患などの障害(身体障害者手帳1級程度)がある人は、公費での助成が受けられます。詳細は広報ふくち10月号の折込みチラシでご確認ください。

マスク着用と手洗い・うがい徹底!

流行シーズン中は、妊娠中の人、高齢者や慢性疾患を抱えている人、疲労・睡眠不足の人はなるべく人ごみや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出するときは、マスクを着用しましょう。また、帰宅時には、手洗い・うがいの徹底を。流水と石けんで付着したウイルスを除去するとともに、うがいで口やのどを洗浄。のどの粘膜を潤してウイルスへの防御機能を高めましょう。

この症状は風邪? インフルエンザ?

風邪との違いは、突然の発熱。風邪は37度程度の熱が続くことがほとんどですが、インフルエンザはまず悪寒がきて、その後1日ほどで38度～40度にもなる高熱が続きます。さらに、のどの痛みや鼻水、咳などの症状に加え、「頭痛や関節痛、筋肉痛など、全身に強い症状が出る」点も特徴的。感染後に服用する抗インフルエンザ薬は、症状が出てから48時間を過ぎると、十分な効果が期待できません。疑いのある症状が現れたら、ただちに受診しましょう。重症化を防ぎ、周囲への感染も最小限にできます。

※発症して3～7日間はウイルスを排出するといわれています。熱が下がっても最低2日間は外出、出勤は控えましょう。

咳エチケットで周囲へ広めない!

インフルエンザは、感染者の咳やくしゃみの飛沫に含まれるウイルスを吸い込むことで感染します。咳エチケットを身につけ、飛散を予防しましょう。

- ▶ 咳やくしゃみの症状がある場合は「不織布製マスク」を着用し、周囲に咳をしている人がいたらマスクの着用をすすめましょう。
- ▶ 咳やくしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて2m以上離れます。とっさの咳やくしゃみは、手ではなく、袖や上着の内側で覆いましょう。
- ▶ ティッシュに出した鼻水やたんは、密閉することができるフタ付きゴミ箱に捨てましょう。

マスクの正しい着用方法

※毎日新しいものに取り替えましょう。



マスクの鼻部分を装着前に鼻筋に合うように折り曲げ、鼻筋にフィットさせましょう。



ゴムひもを両耳にかけたら、マスクと顔の間に隙間がないかチェック! 鼻・口・あごを覆うようにしましょう。

インフルエンザに負けない体を!

インフルエンザウイルスは、低温で、乾燥した環境で活発になります。室温を20度前後、特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保ちましょう。また、体の抵抗力を高めるために、十分な睡眠と休養、バランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけてウイルスに負けない体を作りましょう。

☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500